

か」などと話し、制作にまつわるエピソードを披露した。

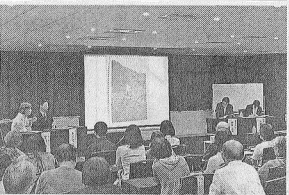
## 「眞葛焼」陶芸家

### 宮川香山を語る

横浜でイベント

横浜の伝統工芸「眞葛焼」の陶芸家、宮川香山を語る特別イベントが6日、横浜市神奈川区のTKPガーデンシティ横浜・ホールで開かれた。宮川香山眞葛ミュージアム（同区）主催。明治150年を記念したもので、講演会と座談会が行われ、約100人が参加した。

講演には同ミュージアム館長の山本博士さんが「明治時代の横浜と初代宮川香山」と題して講演。初代宮川香山が活躍した時代の横浜の情景を、当時の写真や



地図などを交えて解説。所蔵作品の中に著名な絵師である伊藤若冲のモチーフを見いだすなど、眞葛焼の新たな発見についても語った。

また、座談会では宮川香山のやしゃごの宮川眞さんをはじめ、陶芸家、古美術商など4人が集まり、宮川香山の人となりや作品の特徴について語り合った。写真。宮川さんは「実家には当時、犬や水鳥のほか熊も飼っていて、作品のモチーフにしていたのではない